



西岡紗耶(さや)ちゃん
平成7年12月7日生まれ
(西山)

西岡家には60年ぶり、また剛さんと明美さんには3人目待ちに待った念願の女の子。現在、おじいちゃん、おばあちゃん、剛さんの弟の誠二さん、両親、そして紗耶ちゃんをいつも可愛がってくれるお兄ちゃんの弘平さんと紗耶ちゃんにみんなを取られたような気分の勇生くんの8人家族で暮らしています。2人のお兄ちゃんに囲まれて、ちよっぴり強くなったかなと思えば、やっぱりそこは女の子。まだまだ涙もろい紗耶ちゃんでした。

大きな目がチャーム・ポイントで、明美さんの実家のお母さんに似ていることを知り合いのおじさんに言われるまで気付かなかったそうです。

「健康で、みんなのためになるような人に育って欲しい。」という願いのなか、今日も2人のお兄ちゃんとともに、お父さん手製の木のテラスの上で、元気な笑い声を上げています。

短歌

孫任赤も由希子も試験合格に

オボッパとばかり大泣き笑う

西島 剛林 さよ

林立ちも聞近くあらむ鴨の群

柳葉萌ゆる川辺に悠う

外山 金田 初美

三月の東風の調に乗りている

紫丁ふれの春の挨拶

前浜 沢田千恵子

暮季りに暮いしはらから足腰の

痛みを話題に和む春分の日

岡重町 武橋 信子

高知駅の東に歌人啄木の

父の墓ありしはばし瞑想

大塚 島 光則

長き日を床に伏し来て庭に立つ

アージュ競いて楚々たくまじ

十市 加川 須磨

俳句

北の山々々の宴やわらげり

十市 北村あい子

遠き世を見るまなごしの古歌

明見 木戸 節

川柳

勝ちたくも飲みたくもありやるハシ

十市 八松 久幸

旧姓で睦む友あり故郷は

十市 沢村 義一

上向いて歩こう明日へ夢つなぐ

古市 島田八重子

江梅の開かずの門へ枝垂れけり

物部 山川 邦子

指触れて磯巾着をそそのかす

前浜 中村 祭生

四月鳥嵐別々に見るサスベンス

国府 高村三喜子

植木市鉄の音が空を切る

比江 永田ますき

ざりざりの水位で夜空冴え返る

比江 島場 左枝

土ぬくし庭一面の露のとう

大塚 小松 千那

笠立ちを込める雨の重ね降る

大塚 高石 杜え

カメラ手に寺訪ふ人や枝垂れ梅

大塚 竹田 明代

北山は寒の失りの雪化粧

植野 原 忠男

市の統計

面積	125.23k㎡
人口	48,218人 (-168)
男	22,991人 (-152)
女	25,227人 (-16)
世帯数	18,089世帯 (-172)
()内は前月比	
《平成8年3月31日現在》	

火災・救急

(火災)		(救急)	
発生件数	1件	出動回数	131回
建物	0件	急病	74回
山林	0件	交通事故	26回
その他	1件	一般事故	15回
被害額	0万円	その他	16回
(平成8年3月分)			

まはろぼ

春休みを利用して、祖父母の家に行く娘に、自転車の旅をけしかけてみた。片道三十。の道程は、バスなら約五十分で千円。楽して行ける。「五千円あげるから、自分の体力と気力を試してみてはどう？」十三歳の彼女は、筋肉痛がお金を迷った末、自転車に決めた。

国道は花見シーズンでかなりの交通量。おまけに、後半十。は急な登り坂が続く。祖父の心配や不安をよそにニコニコ顔で出発。道中満開の桜を見たり、自転車について歩きたがら、ウグイスの鳴き声が聞けたかしら。自然を自分の目や耳・肌で感じてくれたかな。などと考えていると、無事到着の電話が入る。一時間四十分さすがに速い。疲れたに違いないけれど、「最後までやればできた」という満足感。彼女にとって今後何かの時の、ガンバリに通じてくれるはずと、密かに期待している。五月病の季節です。おとなも子供も、疲れたらゆつくり休んで、また少し頑張ってみましょう。